



①防護機能の価値：
越波減少機能を発揮している
堤防等の洗掘防止機能を発揮している

砂浜の防護機能の
価値や砂浜の持続性・
背後地の評価

砂浜の環境・利用
価値の評価

②環境機能の価値：
砂浜特有の生物の生息・利用
③利用機能の価値：
海水浴やサーフィン、釣りなどの
レジャーや、地元住民による
日常利用が盛ん など

砂浜の持続性に関して、以下の観点から評価
・地先と漂砂系・流砂系全体（空間スケール）
・過去～現状と将来推計（時間スケール）
・沿岸漂砂量、土砂収支、土砂量
・砂浜侵食の程度・速度
・背後地の重要度 など

砂浜・海岸
の分類

・砂浜の分類

①防護に関する機能、要求性能

砂浜に求められる機能
及び要求性能の設定

②環境に関する機能、要求性能
③利用に関する機能、要求性能

①～③ → 汀線位置
砂浜全体の土砂収支等

砂浜の管理指標
の設定

②～③ → 利用可能な砂浜面積、
海浜植生の生育面積等

海岸保全計画の手引き（H5）

・海岸保全区域のあり方
・海岸保全施設の指定方法

必要に応じて検討

海岸保全基本計画の
確認又は見直し
海岸保全区域の
確認又は見直し
砂浜の海岸保全施設
としての指定
侵食対策事業等の確認
又は見直し、新規導入

海岸事業の費用便益分析指針
（改訂版）（H16.6）

・砂浜が有する価値の
評価方法
・インセンティブの付与

・海岸保全区域の指定にあたっては、
①～③を踏まえて考え方を整理
・海岸保全施設指定にあたっては、
①を踏まえて考え方を整理

費用
便益
分析

自然共生型海岸づくりの進め方
（H15）

海岸景観形成ガイドライン
（H18.1）

土砂収支に係る外部要因
（流域・沿岸域の開発行為等）

事業の実施

・モニタリングの精度、頻度、調査内容

管理水準の設定及び
それに応じたモニタリング
項目、精度、頻度、範囲

モニタリング
体制の確認・構築

多様主体による
取組継続性の担保
・ボランティア
・PPP/PFI
・大学連携

海岸協力団体指定準則
（H26.8）

・動的管理にあたって許容限度の設定
・項目（多 ↔ 少）、頻度（高 ↔ 低）、
精度（高 ↔ 低）、範囲（広 ↔ 狭）

①地形測量、深淺測量、
汀線測量（UAV、SAR等の活用）

モニタリング
手法の設定

②自然環境調査
（海辺の生物国勢調査等）
③利用調査

河川砂防技術基準調査編
（H24）

モニタリングの実施

海辺の生物国勢調査マニュアル（案）
（H15.3）

モニタリングデータの
ストック・見える化

・多様な主体によるモニタリングデータの一元管理
・データの見える化、情報共有

砂浜等の
再評価・分類

砂浜管理の技術の開発

浜崖後退抑止工の性能照査・施工・管理マニュアル（H25.6）
人工リーフの設計の手引き（H29.6）

・侵食対策技術（施設、養浜）
・砂浜モニタリング技術
・砂浜地形変化の予測技術

P

D

C

A